

マロウの
幻想的な物語り



骨をかく場所
そして、大切な人との時間—



maronas.info

作品紹介

タイトル:マロナの幻想的な物語り

原題:L'extraordinaire voyage de Marona 英語題名:Marona's Fantastic Tale

(2019/ルーマニア・フランス・ベルギー/1:1.85/5,1ch/フランス語/92 分)

監督: Anca Damian アンカ・ダミアン

制作スタジオ: Aparte Film(ルーマニア) /Sacrebleu Production(フランス)/
Minds Meet(ベルギー)

プロデューサー: ロン・ディエンス 『ロング・ウェイ・ノース』/トーマス・レイヤーズ

World Premia: 2019 年 6 月 アヌシー国際映画祭

Japan Premia: 2019 年 11 月 東京国際映画祭

2020 年 3 月 東京アニメアワードフェスティバル 2020 コンペティション部門

長編アニメーション グランプリ / 東京都知事賞 W 受賞

<概要>

『マロナの幻想的な物語り』は、2019 年に日本公開されたフランス・デンマーク製長編アニメーション『ロング・ウェイ・ノース 地球のてっぺん』のメイン制作プロダクションである仏サクレブ・プロダクション、プロデューサー ロン・ディエンスによる最新作である。監督のアンカ・ダミアンはザグレブ国際映画祭で長編アニメーション『THE MAGIC MOUNTAIN』(2015)でグランプリ受賞をはじめ、『MOON HOTEL KABUL』(2018)、『The Call』(2018)でも各賞を受賞している世界が注目のルーマニアの女性監督・プロデューサーです。

『マロナの幻想的な物語り』は、鼻がハートの形の雑種マロナの一生を描いた作品で、92 分の本編には愛とアートが溢れんばかりに詰まっています。2D と3D の融合、特にクライマックスのシーンのマロナの視点で描かれた描写はそのあとの顛末を含め圧巻で、映画表現の歴史に刻まれるべき作品となっています。

『マロナの幻想的な物語り』海外版予告編 <https://vimeo.com/401192073>



© Aparte Film, Sacrebleu Productions, Mind's Meet

『マロナの幻想的な物語り』の国内配給は、前述の『ロング・ウェイ・ノース 地球のてっぺん』の配給会社リスクット、同社は吹替え版制作で定評があり、本作も日本語字幕版に加え、日本語吹替え版も展開とのことで、今からオリジナル版との見比べが楽しみとなっています。

<日本語吹き替え版 鼻がハート型の主人公マロナを演じるのは……>

<あらすじ>

血統書付きで差別主義者の父と、混血で元のら犬だけど美しくて博愛主義の母との間に生まれたマロナは、同時に生まれた9匹の末っ子で、「名前なし」ですが、便利的に「ナイン」と呼ばれていました。このハート型の鼻を持つ小さな犬は、生まれてすぐ彼女の家族から分離され、曲芸師、マノーレの手にわたります。マノーレはこの小さな犬にアナ、という名前を授け、アナは、大好きなマノーレと一緒に幸せの瞬間を過ごしていました、そんな中、マノーレに大きなチャンスがやってきます。ただしその仕事には「犬禁止」条項が付帯していました。アナは、自分がマノーレの負担になることを知ってマノーレのもとを去る決心をします。さみしく通りをさまよっている彼女は、エンジニアのイストヴァンの働く現場のゴミ箱の中で発見されます。サラという新しい名前をもらい、建設現場で一緒に過ごした日々。イストヴァンはますますサラに愛着を持ち、建物が完成した後、彼の母親の家に彼女を連れて行くことにしました。老婦人は精神的な病をかかえていて、思わずサラを傷つけたので、サラはイストヴァンと彼の妻の家に引っ越します。イストヴァンの妻マダリナは、マロナを彫像のようにじっとさせようとしています。サラは彼女が望んでいたほど従順ではないので、少しずつマダリナは彼女を邪魔に扱います。幸いなことに、サラは脱出し逃げ出しました。そして、彼女は少女ソランジュと公園で出会います。新たな名前はマロナ。最初は女の子の母親と祖父には受け入れられませんでした、マロナは持ち前の愛くるしさで次第に家族全員を虜にします。ゆっくりとマロナは家族一人一人と絆を深めていきます。ある日、マロナは、散歩の途中の公園で倒れた祖父の命を救います。年月が経ち、ソランジュが10代になるにつれて、彼女は徐々に犬に興味を失います。ある日、彼女はマロナを木に結び付け、デートの後で戻ってくることを約束してバスで街へと出かけます。マロナはソランジュの身に何かが起こることを予感し、結ばれていたリードを外し、ソランジュを追いかけて街を彷徨います、そして、バスから降りて車にひかされようとしているソランジュを見つけ、マロナは彼女の代わりに身を捨てて車に飛び込みます。



監督:アンカ・ダミアン

ルーマニアの国立舞台映画芸術学院で、映画撮影と美術・映画・メディアの博士号を取得。卒業後は監督、脚本家、プロデューサーとして、芸術関連のドキュメンタリーに関わり、また監督として2本の長編映画と様々なドキュメンタリーや短編を作成。

2018年には実写長編映画『Moon Hotel Kabul(ムーンホテル・カブール)』がワルシャワ国際映画祭で、最優秀監督賞を受賞した。また、彼女の最新のアニメ短編映画である『The Call(コール)』は、アヌシー、トロント、サンダンスなど40以上の国際映画祭で上映され、5つの国際的映画賞を受賞した。

マドリッド国際映画祭2018で、「新しい監督達にとって真に目標となる、そして比類なきインスピレーションを与える総合芸術家」としてミラダ国際賞を受賞している。



そして本作『マロナの幻想的な物語り』を2019年、アヌシー国際映画祭にて発表、日本では東京国際映画祭で正式上映後、東京アニメーションアワード2020のコンペティションに選出され見事長編アニメーショングランプリと東京都知事賞を獲得した。

監督からのメッセージ

『マロナの幻想的な物語り』は、愛らしい小型犬マロナの物語です。様々な飼い主の手に渡るマロナの生涯を通じて、ハラハラドキドキする、奇跡のような旅と一緒に体験してください。

この映画のアイデアを思いついた時、この一見“家族向け”に見える映画には、さらに深い意味を待たせることができると感じました。日々の平凡な生活において、見逃しがちな、しかし大切なことを気付かせてくれる映画です。アニメーションは、その意味で、私の想像の世界を自由に表現してくれる最適なパートナーでした。そのユニークな表現と視点は、観る人に大きく影響を与えます。特に犬の目線からものごとを見るということは、普段なら気が付かない真実を映し出す鏡を手にするようなものです。私にとって、この映画は現代版のおとぎ話です。

マロナの運命は単純でありながらも複雑で、個人的でありながらも普遍的なものです。今を生きる、ちっぽけなことを楽しむ、他人と深く繋がる。これが、犬から人間への「幸せの教訓」なのです。最後に流れる歌は、このメッセージを歌っています。

主題歌 Happiness 作曲 パブロ・ピコ / 歌 イザベル・セルリング

Happiness is a small thing

Almost nothings

A saucer of milk

A big wet tongue

A nap

A place to bury a bone

幸せは ほんのちっぽけなこと

取るに足りないこと

一皿のミルク

大きな温かい舌

昼寝

骨をかくす場所

そして、大切な人と過ごす時間――

スタッフ&キャスト ヨーロッパの唯一無二な才能が終結

ブレヒト・エヴァンス・・・設定およびキャラクター・デザイン

brechtevens.com

1986 年生まれ、ベルギー出身のコミック作家、アーティスト。その独特な手法は「水彩絵の具の名手」「ロマン・グラフィックの至宝」など、各メディアで絶賛される。ロマン・グラフィック(英語ではグラフィック・ノベル)とは、従来のコミック作品の枠を超え、大人を対象とし、ストーリーも文学的であったり、絵画的である。

「The City of Belgium(ベルギーの街)」は、2019 年アングレーン国際漫画祭の審査員特別賞を受賞。その活躍はルイ・ヴィトンの「トラベルブック」シリーズ・パリ編や、フランス発のブランド・コテラックとのコラボ製品を手がけるなど幅広い分野に及ぶ。日本でも 2019 年ミキモトコスメティックスと“The First Snow of Peals”シリーズを展開し話題を集めた。

ジナ・トーステンセン・・・背景美術

vimeo.com/thorstenco

1980 年ノルウェー生まれのビジュアル・アーティスト。2010 年、スペインのインディーズバンド、Klaus & Kinski の「El Rey del Mambo y la Reina de Saba」(抒情的な音楽にあわせて、牛がサンバを踊る!!)をはじめ、グラミー賞アーティスト、ゴティエの「Giving Me A Chance」(2012 変幻自在の映像美)、The Eye's Habit の「Principia」(2016 ニュートンの万有引力がテーマ!!)といったミュージック・クリップのアニメーション映像で注目を集める。バルセロナの Gallery にて個展「Brotan」(2016)、「Cosmogonías」(2018)を開催する一方、壁画アーティストとしてもバルセロナ市役所の 25 メートルの壁(2017)を手掛けたことで知られている。

サラマゼティ・・・背景美術

sarahmazzetti.com

1985 年生まれ、イタリア人イラストレーター兼漫画家。The New York Times、The New Yorker、The Guardian といった有名雑誌のイラストから、企業とのコラボレーションまで幅広く活動する。初の子供向け漫画「I Gioielli di Elsa」(エルザの宝石)は 2017 年に出版され、ルッカ漫画ゲーム祭で Gran Guinigi 賞を受賞、また 2019 年、ボローニャ国際児童図書展で世界的に名高い国際賞を受賞した。

パブロ・ピコ・・・作曲家

pablopico.com

1983 年生まれ、フランス人作曲家。これまでに 100 本ほどの短編映画と、セザール賞にノミネートされたサイモン・ルービ監督のアニメーション『アダマ』や、本作『マロナの幻想的な物語り』を含めた 6 本の長編映画の音楽を担当している。また作曲家としてだけではなく時にはミュージシャンとして、ピアニストのアレクサンドル・トロ、ヒップホップ・アーティストのオクスモ・プッキノ、歌手のジェラルド・ジェンティらとステージで共演している。2019 年には、レンヌ国際アニメ映画祭で最優秀賞音楽賞を受賞。

イザベル・セルリング・・・歌手(主題歌“Happiness”)

isabelsorling.com

1987 年スウェーデン生まれの即興演奏家、作曲家、音楽家。彼女のパフォーマンスは即興、フォーク、アヴァンギャルドの境界を自由に行き来し、脆弱性と熟練を融合させた芸術性が高く評価されている。2020 年 5 月に 3 作目のアルバム「MARELD」をリリース。

リジー・ブロシェレ・・・マロナ声

10 歳から子役としてフランスの数多くの TV シリーズや映画作品に出演。その後米英の大作ホラーから実験的 VR 作品まで幅広く活動しながらソルボンヌ大学で映画と文学の修士を獲得し、自ら難民や人種差別をテーマとした作品制作に取り組む。2018 年ガス・ヴァン・サント監督の『エレファント』(2003)の主演で知られるジョン・クリスチャン・ロビンソンと結婚し、一人の子供を授かる。

解説

そのビジュアルをひと目見ただけで心の奥底に響く映画がある。私にとって、この『マロナの幻想的な物語り』がそれだ。ひと目惚れ の舞台は 2019 年の東京国際映画祭ワールドフォーカス部門の告知ポスター。『マローナの素晴らしい旅』という題名だった。ビジュアルに心を惹かれ、すぐにチケットを入手し足を運んだ結果は大当たり。興奮と余韻とともに帰路に着いたのだった。そして今春には『マロナの幻想的な物語り』の題名で東京アニメアワードフェスティバル 2020 のコンペティション部門にノミネートされ長編アニメーション グランプリと東京都知事賞を獲得。早くも年内に劇場公開予定という。まるでこの映画の主人公マロナのように劇的な運命。

マロナとは栗色をした犬の名前。最後の飼い主がつけてくれた名だ。最初の名前は数字の 9。9 番目に生まれた子犬。マルチーズの血を引く雑種で、ハート型の鼻と垂れ耳、ふわふわのしっぽがキュートな女の子。映画は彼女が生まれる前から始まり、マロナ自身の語りに乗せて、その変転する生涯を描き出す。9、アナ、サラ、マロナと飼い主によって次々と変わる名前。犬と人の出会いと、心ならずも 訪れる別れ。それは犬を通して見る現実社会の縮図でもある。犬の幸せは人の寝顔を見守ることと言うマロナ。その健気さと飼い主に 注がれる無償の愛に泣かされる。犬好きにはたまらない映画だろうし、マロナが語る犬の哲学、幸せの定義が心に響くだろう。この映画はそんな風に犬と人との関係を思い起こさせてくれるのだが、それだけではない、もうひとつの美点がある。それが アニメーションならではの表現。そこにひと目惚れの理由がある。自由奔放、変幻自在。きちんとストーリーを追い、適切な台詞によって時々的心情をよく伝えながら、同時に極めてアーティスティックでアヴァンギャルドな目くるめく表現の挑戦があるのだ。例えば、生後まもなく捨てられた彼女が出会う曲芸師の青年マノーレの描写。黄色にオレンジの縦縞衣装を纏った彼の、重力や遠近や関節や自分自身にすら捕らわれない自由な動き。これは是非ご自分の目で確かめていただきたいのだが、常識のくびきを軽々と打ち破ってみせる表現は圧倒的で、幸福な酩酊感さえ覚える。そして、その表現が青年の曲芸師という職業をこれ以上ないほど 的確に表わしている鮮やかさ。

全編を通しビジュアルはカラフルかつユニークで、さながら動く前衛絵画。しわに埋没する顔、子供の落書きのようにくねくねした体、生き物のようにうねり瞬時に変化する髪。赤い毛並がぞわぞわと動き続ける猫のそれ故の猫らしさ。海藻のように揺蕩い続ける 草木と、猛魚のように鋭い牙を剥く自動車。うごめき続ける画面はアニメーションの語源がアニマ(命、魂)というラテン語であるという 定義を持ちだすまでもなく、世界が命に満ちていることを伝えるに十分だ。息を呑むイメージの連続であり、しかも見る者の目を妨げない。シーン毎に計算された色彩設計も見事だ。こんなアニメーションは少なくとも長編映画では見たことがない。人間よりも寿命が短い犬の人生はこうのように、人間の認識よりも 多くのものを圧縮して受容しているのではないかとさえ思わせる不思議に満ちている。人によってはアニメーションそのものに持つ常識すら更新されるのではないだろうか。また、もうひとつの特徴である 2D と 3D のハイブリッドな表現。これは最近のヨーロッパアニメーションの特徴でもあるが、この映画でも効果的に用いられていて目を奪う。ことにマロナが少女の乗ったバスを追いかける場面は圧巻。カメラワークに連動して仕掛け絵本のように立体的に展開する世界。視覚的な驚きが心を揺さぶり、目が画面に吸い込まれる。走り続けるマロナに、思わず、もうやめて と叫びたくなる。この映画において技法や表現はそれのみが目的ではなく、映画自体に貢献し、人の心を動かすためにあるのだ。そこが素晴らしい。映画はマロナからのメッセージをそっと伝える歌で閉じる。「幸せは ほんのちっぽけなこと 取るに足りないこと…」と。『マロナの幻想的な物語り』は、世界はこのようなものであるという私たちの思い込み、固定概念を根底から揺さぶり新しい視点を 開かせてくれる。映画を観終えて外に出たなら、世界が違う貌をして見えるだろう。そして同時に、自分の傍らにある命に優しい目を 向けたくなる筈だ。

監督のアンカ・ダミアンはルーマニアの国立舞台映画芸術学院出身。監督・脚本家・プロデューサーとして多くの短編・長編映画や ドキュメンタリーを手がけ、2 本目の長編アニメーション『Crulic-The Path To Beyond/Crulic

Drumul Spre Dincolo(クルー リック その先へ続く道)』はアヌシーのクリスタル賞を受賞、また実写長編映画『Moon Hotel Kabul(ムーンホテル・カブール)』で ワルシャワ国際映画祭の最優秀監督賞を受賞している。彼女は自分の全ての作品の根底にあるテーマは「愛と死」であり、この『マロナの幻想的な物語り』は現代版のおとぎ話であると語っている。また、個性的なグラフィック・コンセプト・コンサルタント&キャラクター・デザイナーのブレヒト・エヴェンスはベルギーの漫画家。バックグラウンド・アーティストのジナ・トーステンセンはノルウェーで壁画アーティストとしても活動、同じくバックグラウンド・アーティストのサラ・マゼッティはイタリア人のイラストレーター兼漫画家。全編を彩る音楽のパブロ・ピコはフランス人の作曲家。本作は 日本でも大好評を博した長編アニメーション『ロング・ウェイ・ノース 地球のてっぺん』(レミ・シャイエ監督)のメイン制作プロダクションである仏サクレブルー・プロダクション、プロデューサーのロン・ディエンスによる最新作であり、ルーマニア・フランス・ベルギー合作という、今日的な国境を越えた編成による作品である。

なお、マロナは実在の犬であり、エンドロールで他の多くの犬たちと共に感謝が捧げられている。

五味洋子 アニメーション研究家

元オープロのアニメーター。著書に『アニメーションの宝箱』『未来少年コナン また、会えたね!』他。web アニメスタイルの「アニメーション思い出がたり」のコラムを担当。東京アニメアワードフェスティバル 2017/2018 でコンペティション部門 短編アニメーション 一次選考委員。

『マロナの幻想的な物語り』

監督： アンカ・ダミアン

脚本： アンゲル・ダミアン

キャラクター・デザイン： ブレヒト・エヴェンス

背景美術： ジナ・トーステンセン/サラ・マゼッティ

音楽： パブロ・ピコ

プロデューサー： アンカ・ダミアン/ロン・ディエンス(『ロング・ウェイ・ノース 地球のてっぺん』)
/トーマス・レイヤーズ

2019 | ルーマニア、フランス、ベルギー | フランス語 | DCP | 92 分

提供： リスキット/マクザム/太秦/カルタクリエイティブ

配給： リスキット

後援： ルーマニア大使館

協力： キヤトルステラ/stylab/げんべい商店

公式 HP： maronas.info

公式ツイッター： @maronas_fantasy

公式 instagram： @maronas_fantasy

公式 Facebook： @maronasfantasy